

事業実施主体名 ○○市	
1 事業実施主体の概要（概要） ①団体の概要（代表者：○○市長 ○○ ○○、責任者：○○市 総務課 ○○ ○○） ②交付金事業に係る自己負担分の拠出元 （○○市費）	
2 事業担当者名及び連絡先 ①氏名（ふりがな）：○○ ○○（○○○ ○○○） ②所属（部署名）：○○市役所 総務課 ③役職：主任 ④住所：○○県○○市○○町○○9999 番地 ⑤電話：○○○○○-○○-○○○○○ ⑥メールアドレス：abcd-efg@city.hijk.lg.jp	
3 事業対象地域：○○県○○市	
目標：地域での食育の推進	
目 標 値	
現状（令和5年度）	事業実施後（令和6年度）
※交付金事業の目標については、「共通の目標1つ（産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合を増やす。）」と「個別目標1つ以上（例：農林漁業体験を経験した国民を増やす。）」の計2つ以上の目標を設定してください。	※目標値枠内の吹き出しには、目標値の設定や増加率の算出等をする際の考え方を複数例示しておりますので、ご参考にしてください。
【共通の目標】 目標：産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合を増やす。 目標値：産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 根拠となるデータ等：産地や生産者を意識して農林水産物・食品をいつも又は時々選んでいる者の割合 〔現状値〕69.8%（第4次食育推進基本計画の現状値（令和4年度）） 〔現状値及び目標値の考え方〕第4次食育推進基本計画のほかに、都道府県作成の食育推進計画や市町村実施のアンケート調査の現状値を踏まえた上で、目標値を設定することができます。	同左 〔目標値〕80.0%以上（第4次食育推進基本計画の目標値（令和7年度）） 増加率：△.△% 令和○年度○.○% 〔増加率の考え方〕令和7年度に80.0%以上を目標とする計画から増加率を算出する場合は、令和4年度ー令和7年度の増加率は10.2%。単年度あたりの増加率は3.4%であることから、△.△%の増加を目指す。と単年度の増加率を基に目標値を設定してください。
目標：地域で共食したいと思う人が共食する割合を増やす。 目標値：地域で共食したいと思う人が共食する割合 根拠となるデータ等：家族や友人と食卓を囲み、食事を通じたコミュニケーションを充実させている者の割合 〔現状値〕○.○%（令和○年度○○市○○調査）	同左 〔目標値〕○.○%（令和○年度○○市○○調査により評価） 〔目標値の考え方〕事業実施主体が、市町村で独自に実施する調査の現状値から勘案し、事業実施後の目標値を設定することができます。
目標：農林漁業体験を経験した国民を増やす。 目標値：農林漁業体験を経験した者の増加割合又は延べ人数 根拠となるデータ等：市立小学校授業における農林漁業体験者数 〔現状値〕延べ○○人（令和○年度市立小学校授業における農林漁業体験者数）	同左 〔目標値〕延べ○○人（令和○年度市立小学校授業における農林漁業体験者数により評価） 〔目標値の考え方〕「消費・安全交付金実施要領 別表1 目標値設定に当たっての根拠及び留意事項」には、目標値を設定する方法や留意事項の記載がありますのでご確認をお願いします。

事業の必要性及び目標値の考え方

1 事業の目的

〔現在の課題〕

〇〇市においては、近年の社会情勢の変化により、家庭におけるこどもの共食の機会や、こども食堂等の共食の場における食事機会が減っている。

さらに、〇〇市には〇〇等の特産物があるが、その姿や栽培の様子を見たことがない市民やこども達が増えている。そのため、こども食堂開催のための支援の取組や〇〇農作業体験の実施の取組が必要であると考えます。

2 実施体制

〇〇市役所（〇〇部〇〇課及び〇〇部〇〇課）と市内〇〇こども食堂と市内〇〇農園〇箇所が連携して行う。

委託関係 〇〇の取組のうち〇〇を委託する。

委託先 : 〇〇〇

委託費 : 〇〇〇円

3 波及効果

今回の取組を、市のホームページやSNS及び広報誌等により、市民に対して情報発信する。

- ・ホームページの掲載：〇回 閲覧者数 約〇万人
- ・SNS への掲載：〇回 閲覧者数 約〇万人
- ・広報誌：〇回 全世帯 約〇万世帯へ配布

4 事業成果・効果の検証方法

イベント終了後に、参加者を対象にアンケート調査により効果測定を行う。

5 その他事業の推進に必要な事項

事業メニュー及び交付金要望額			※事業メニューごとに具体的な内容を記載		
事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・規模等)	所要額 (円)	交付金要望額 (円)	交付率
〇〇市	1. 共食の場における食育活動	・こども食堂開催のための支援 令和〇年〇月～〇月（計〇回） 対象：こども・市民 計〇〇名	〇〇円	〇〇円	1/2以内
	2. 農林漁業体験の機会の提供	・〇〇農作業体験の実施 令和〇年〇月～〇月（計〇回） 対象：小学生 計〇〇名	〇〇円	〇〇円	1/2以内
			〇〇〇円	〇〇〇円 「該当なし、 含税額」等	

共食の場における食育活動は、地域における共食の場を試験的に設けるための取組（新規立ち上げの取組）や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動を休止又は縮小している共食の場を再開するための活動を支援します。